

伊藤 謙一 議員

雇用不足の改善を

問 本市の直近の有効求人倍率は。

答 市独自の数値はないが、平成26年度のハローワーク磐田管内の有効求人倍率は0.9倍である。静岡県は1.08倍、国が1.09倍である事を考えると改善が必要だと認識している。

問 市の就労支援事業の取り組みは。

答 本市はサンライフ袋井においての職業相談や、書類作成等のトレーニングを就労希望者に対して行う就職支援セミナーを行っている。また、職業別の有効求人倍率は、建設業4.3倍、看護3.7倍、介護サービス1.8倍であり、一般事務の0.2倍や販売0.7倍と差がある。市内企業をPRする合同企業説明会などを開催し、企業が求める人材を学生に説明していきたい。



高校生と企業を結ぶ袋井市合同企業説明会

若い世代も

政治・まちづくりに参加を

問 若年層の選挙及びまちづくり参加向上への取り組みは。

答 若い世代は、自分達の意見が反映されないとの考えが政治への無力感に繋がっていると考え。今後、小学生からの教育を通して理解を深めたい。また、若い世代が住みたくなる地域づくりをする必要がある。

大石 重樹 議員

歴史文化館と近藤記念館の 利活用は

問 歴史文化館の開館当初予定した利用目標に対し、利用実績は。

答 前年度の利用者数を上回ることを毎年の利用目標としている。また、利用者数は、平成24年度は4070名、25年度は3911名と減少。26年度は企画展が好評で昨年度を上回る見込みである。

問 郷土の偉人浅羽佐喜太郎、ベトナム独立運動指導者ファン・ポイ・チャウ両氏や両国の歴史を学び、交流の場として「日越友好日本一のまち」を目指して、近藤記念館に常設の展示室を設置しては。

答 提案の内容を踏まえ、ファン・ポイ・チャウの資料も加え、袋井ワンコイン・スクールプロジェクトの市民募金で完成したベトナム「レ・ロイ小学校」と市内小学校との交流の様子も紹介するなどして、内容を充実させたい。



近藤記念館と日越友好の「かかし」

平成27年度予算における 取り組みは

問 各課からのフィルタリング結果の内容と削減額は。

答 予算要求段階での見直しは、廃止事業が17、終期を設定した事業が4、縮小事業が22、他事業と統合する事業が3、内容を改善する事業が22で、全体の44%に当たる68事業あった。削減額は4500万円余である。